

1. 略歴

1978年3月	東京大学法学部第一類（私法コース）卒業
1986年8月	連合王国ブリストル大学古典学・考古学科留学（1988年7月まで）
1992年2月	Ph.D.学位取得（連合王国ブリストル大学）
1978年4月	東京大学法学部助手
1982年4月	新潟大学教養部講師
1986年4月	新潟大学法学部助教授
1992年4月	新潟大学法学部教授
1993年11月	オクスフォード大学クライスト・チャーチ客員研究員（1995年1月まで）
1995年4月	新潟大学大学院現代社会文化研究科担当（「古典社会文化論」担当）
1999年9月	オクスフォード大学ベイリオル・コレッジ客員研究員（2000年9月まで）
2002年4月	新潟大学法学部法政コミュニケーション学科長（2003(平成15)年3月まで）
2004年4月	新潟大学大学院実務法学研究科教授
2006年4月	大妻女子大学文学部コミュニケーション文化学科教授
2011年4月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

西洋古典学 ギリシア・ローマ法

b 研究課題

- 1 古代ギリシア人の「対立状況における行動様式」の特徴を、compliance と defiance という概念枠組を用いて、経済、法、宗教、哲学等の諸側面から総合的に考察する。
- 2 ギリシア法を「ギリシア語で書かれた法および裁判に関する文献」と広義に捉え直し、とりわけ民事訴訟をローマとパラレルにとらえることによって、その体系性と技術性を明らかにする。さらに、従来の見方を逆転してローマ法をギリシア法の普及として捉え、古代から近代にいたるギリシア法の歴史を通観する。
- 3 西洋学問の近世・近代の日本への移入を「文化転移」として、「普及」と「翻訳」という視点から総体的に把握する。

c 主要業績

(1) 著書

単著、葛西康德、『法律家としての William Jones — Bailment and Speech of Isaeus』、龍谷大学現代インド研究センター、2011.10

(2) 学会発表

国際、Yasunori Kasai、「Diffusion and Reception in Japanese Law」、Global Law and Global Legal Theory、Maison Franco-Japonaise, Tokyo、2011.6.3

国際、Yasunori Kasai、「Two Perspectives on Mixed System -Japan-」、3rd Congress of the World Society of Mixed Jurisdiction Jurists、Hebrew University of Jerusalem、2011.6.21

国際、Yasunori Kasai、「"Open Texture" in Greek Law Revisited - From a Point of View of the Comparative Law - With Special Reference to Paragraphe」、The 20th British Legal History Conferenc、University of Cambridge、2011.7.14

(3) 会議主催（チェア他）

国際、「アメリカ奴隷法研究会」、主催、東京大学、2012.1.31

国際、国際シンポジウム「法典化の19世紀（ポスト）コロニアル・パースペクティヴ」、チェア、全体ディスカッション、新潟大学、2012.2.4

国際、「古典学・法制史研究会」、主催、東京大学、2012.2.7

(4) 総説・総合報告

葛西康德、「Mixed Academic Jurisdiction —グローバル時代の学士課程—」、『季刊 創文』、No.03、1～3頁、2011.10

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

大妻女子大学大学院比較社会論専攻（修士課程）非常勤講師「国際交渉論」（2単位）
新潟県農業大学校「法律」非常勤講師（2単位）

(2) 学会

「日本西洋古典学会」「日本法制史学会」「日本宗教学会」「19世紀学学会」
「法とコンピュータ学会」（理事）

The Hellenic Society, The Selden Society

(3) 行政

北陸信越地方交通審議会船員部会公益委員

(4) 学外組織（学協会、省庁を除く）委員・役員

新潟大学超域学術院運営委員会委員